

情報基盤企画整備部会の業務と活動状況等について

情報基盤企画整備部会長 村本 健一郎

1 はじめに

情報戦略本部の下の情報基盤企画整備部会の業務内容及び活動状況等について報告する。

2 業務内容

情報基盤企画整備部会の業務は、次のとおり定められている。

- (1) 情報戦略（中・長期計画、年次計画等）の企画・立案及び点検・評価に関すること
- (2) 情報基盤の整備に係わる予算計画の策定に関すること
- (3) 情報戦略の推進に係わる総合的な連絡調整に関すること
- (4) その他情報戦略及び情報基盤に関し他の部会の業務に属さないこと

具体的な情報システムの導入については、本年度は既に進行中のキャンパスインテリジェント化整備計画 WG の内容を本学の情報戦略を踏まえた形態で実現していくこととした。

3 組織体制

当部会は、平成 14 年度に設置されたキャンパスインテリジェント化推進委員会（平成 16 年度からキャンパスインテリジェント化整備計画 WG）の業務も引き継ぐこととされたので、平成 20 年度の WG 委員を構成員として、教員 5 名と、情報部の事務系職員 3 名の計 8 名で構成されている。

4 活動状況

キャンパスインテリジェント化整備計画 WG により、これまで引き継いだ基本方針をベースにして改定した「キャンパス・インテリジェント化情報基盤・システム開発整備の基本方針」を以下に示す。

1. 中期計画期間中の情報基盤及び情報システム開発整備について毎年一定の予算を確保し、優先度を勘案して計画的かつ遅滞なく、キャンパス・インテリジェント化を推進する。
2. 平成 20 年 7 月に設置された情報戦略本部との連携・整

合性を図りながら進める。

3. キャンパス・インテリジェント化実施計画を、1) 情報基盤整備・大学管理運営に関する整備、2) 教育基盤整備、3) 研究基盤整備・地域社会貢献に大分類し、各大分類ごとに一定額の予算を措置して計画的な整備に努める。
4. 重点的に予算措置するインテリジェント化の個別事業計画について、実施推進責任母体を定めて詳細な実施計画・予算見積もりを改めて行い、着実かつ効果的な整備及びその運用に努めると共に、その投資効果について事後評価を実施する。
5. 本学の予算規模からして通常の運営費交付金による整備が困難と判断される計画、あるいは文部科学省等の学外資金の導入による調達、整備が適切と判断される計画については、実施計画の枠外とする（例えば、遠隔授業システムの整備、マルチメディア教室の整備など）。
6. キャンパス・インテリジェント化推進委員会（平成 16 年度からキャンパスインテリジェント化整備計画 WG）から引き継いだキャンパス・インテリジェント化整備年次計画にリストアップされながら、未実施の個別計画事項については、今後、その必要性に鑑みて、情報戦略本部に積極的な対応を求めるものとする（例えば、学生証の IC カード化・入退出管理、教育研究等実績データベースの拡充など）。
7. キャンパス・インテリジェント化整備計画は、その全容を「キャンパス・インテリジェント化整備計画」専用の学内向けホームページにおいて全ての本学構成員に周知して意見を求めるものとし、また毎年、計画の見直し・追加を行うものとする。

5 今後の検討課題

今後、他の作業部会と連携し、また情報戦略本部とも調整しながら、主に次の課題について検討を行う。

- (1) 第二期中期目標・中期計画の策定に向けた情報施策の検討
- (2) 次年度以降の情報基盤の整備に係わる予算計画の策定